

# 歴史の証人 吉胡貝塚

## 国指定史跡 吉胡貝塚整備事業がはじまります

縄文時代後・晩期の遺跡で

国営発掘第1号の遺跡でもある『吉胡貝塚』

この貴重な貝塚を保存・活用するため

公園整備に着手します

生涯学習課 ☎ 23局3531



### 吉胡貝塚って？

吉胡町の国指定史跡『吉胡貝塚』は、縄文時代後・晩期（3000～2300年前）の日本を代表する貝塚です。

大正11・12年、京都大学の清野謙次博士による初めての調査で300体を超える人骨が発見され、一躍著名となりました。その後、昭和26年春に文化財保護委員会（現文化庁）が発掘調査を実施しました。この調査は、国が文化財保護法に基づき実施した第1号の発掘調査で、戦後の文化財保護史に一ページを記したのです。これらの調査で縄文文化の研究に大きな成果をおさめ、昭和26年12月26日、国指定史跡となりました。



平成15年度の発掘調査の様子

現在までに発見された人骨数は340体を超え、これは貝塚出土人骨日本一となります。吉胡貝塚は考古学、文化財保護のうえでも、広く社会に貢献した重要な遺跡なのです。

### 整備計画の経過

田原市では、吉胡貝塚を一般の方に広く活用していただき、その価値を次世代に伝えていただくため、地元関係者の皆さん、造園学・文化財保存・整備・考古学・地形地質・建築史の各専門家によって構成される「国指定史跡吉胡貝塚整備委員会」や文化庁記念物課、愛知県教育委員会などの指導を得ながら整備計画づくりに取り組んでまいりました。並行して、遺跡の概要をできる限り正確に把握するため、平成13～15年度には発掘調査も行いました。

吉胡貝塚には、先人たちの生活の知恵が埋まっています。渥美半島という自然環境のなかでさまざまな工夫を行い、固有の文化を作り上げてきた彼らの暮らしぶりに思いをはせ、学び、私たちの生活に生かしていく視点に立って整備を行います。3～4年後には、新しい吉胡貝塚をお見せできることでしょう。



貝塚で行われた体験学習（石器づくり）

### 整備する3つのゾーン

#### 【史跡ゾーン】

現況地形の保護・保存や貝塚などの展示によりイメージが膨らむ空間

往時の情景をイメージ

渥美半島の地勢にあつた野草など素朴な植栽

すべての人にやさしい園路

#### 【施設ゾーン】

出土品の展示や史跡の紹介などにより、イメージが膨らむ空間

#### 【体験ゾーン】

体験学習のほか、イベント広場としても活用